

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和7年8月29日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	寄神建設株式会社
所在地	〒652-0831 兵庫県神戸市兵庫区七宮町2丁目1番1号
代表者役職・氏名	取締役社長 寄神 正文
担当者連絡先	電話：078-681-3129 (担当：中原 勇)
	メール：i-naka@yorigami.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.yorigami.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

戦後復興期の神戸で昭和24年(1949)にサルバージ業として「寄神海事工業所」を創業し、昭和25年(1950)に法人化、昭和41年(1966)に現在の「寄神建設株式会社」に社名変更を行った。 神戸港の発展とともに、そのニーズに応えるため港湾土木事業に進出し、多くの作業船を建造・保有することとなった。その後、海洋土木や陸上土木、建築業に進出し、全国や海外にも事業を展開する現在の総合建設会社の姿となっている 「海洋土木を中核に経験豊富な技術を活かし、持続可能な社会の構築、地域社会に価値をもたらす企業であり続ける」をビジョンに掲げ、空港や港、道路や橋などの大型プロジェクト工事に欠かせない役割を果たしている。近年では脱炭素社会に向けた太陽光発電事業や洋上風力発電事業に注力中。
--

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 ✓社会 ✓経済	太陽光発電、洋上風力発電などの再生可能エネルギープロジェクト工事への参画	累計800MW以上の発電所建設工事を目指す
✓環境 ✓社会 □経済	安全環境活動の推進 労働災害の撲滅 海洋汚染(油流出事故)	労働災害 現状7件→0件 油流失事故 現状0件→継続
□環境 ✓社会 ✓経済	多様な人材が活躍できる環境の整備 女性活躍推進 外国人雇用	女性技術者 現状7名→10名 外国人 現状19名→30名

(次項へ続く)

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
11	環境 【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	産業廃棄物処理計画書・品質環境計画書を適正に報告している。 エコキャップ回収運動を推進し、NPO法人を通して世界の子供達にフクチンを届けている。 災害発生時の備蓄食料品の更新に際し、賞味期限前に「こども食堂」に寄付を行っている。											11.6	12.4 12.5		14.1	
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	工事現場・事務所・本社・支店で使用しているエネルギー量を把握している。作業船の生活電力はCO2の排出が多い重油を使用していたが、接岸時に陸電を使用するよう切り替えた。							7.3						13		
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	自社が使用する電気・ガス・水道をCO2排出量に換算し年度毎に把握。陸電への切り替えやハイブリッドカーの使用等により、削減に繋げている。							7.2 7.3					12.4	13.3		
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	リスクアセスメントの実施を徹底し、法令に基づいた適正な管理を実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4			
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	海洋・河川・陸上の工事において、生態系に配慮して工法を選択している。 船舶による油流出事故を発生させない様、油吸収マットの装備と定期的な訓練を行っている。						6.6								15	
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	全拠点の水使用量把握し、利用効率の改善を図っている。						6.4 6.6									
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	環境マネジメントシステムISO14001を取得し、環境を守るための社会的責任を果たしている。			3.9			6	7					12	13.3	14	15
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	ホームページの「サステナビリティ経営」項目に、環境への取り組み状況を掲載している。 グループ会社で34MWのメガソーラーを保有しており、年間1.25万世帯の電力(CO2削減量約2.5万トン/年)を供給している。												12.6			
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	大規模太陽光発電所の建設および保有事業に積極的に取り組んでおり、兵庫県や淡路市などが推進している「あわじ環境未来島構想」へ貢献している。また、洋上風力発電所の建設に必要な作業船団を逸早く整備し、発電所の完成に大きく寄与している。							7.2						13		
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	神戸港の兵庫運河や神戸空港島でのブルーカーボン創出推進の為、継続的にJブルークレジットの購入を行っている。												12.2	13	14	15
21	製品・サービス 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	品質マネジメントシステムISO9001を取得の上、自社独自の「YSCマネジメントシステム」を作成し運用している。			3.9									12.4			
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	上記「YSCマネジメントシステム」を運用している。また、企業行動規範に、CSRの遂行としてお客様のニーズに応え満足してもらえるよう技術力と人材の強化を図ると明記している。								9							

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	ガラス用遮熱塗料等を施工・販売し、室内の空調効果を高め、省エネルギー・節電に繋げている。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	世界的な社会課題となっている地球温暖化防止のため、再生可能エネルギーの普及において、遑早く太陽光発電事業に参入し、続いて洋上風力発電事業にも参入を果たした。 洋上風力発電事業においては、保有作業船を活用した当社独自の施工も実施し、大型プロジェクトでの確固たる地位を確立している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	環境マネジメントシステムISO14001を取得しており、利害関係者や地域住民等に工事説明を実施し、環境に配慮した工法選り工程を組んでいる。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	災害発生時に対応する協定を結んでいる。 地域ボランティア団体に加入し、兵庫運河周辺の清掃活動等に取り組んでいる。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	企業行動規範・コンプライアンスマニュアルに社是・社訓を明示・説明し、中期経営計画・年度計画に経営戦略・業務方針を明示し、社内への浸透を図っている。								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	コンプライアンスマニュアルを策定し、コンプライアンス研修の開催・不当要求防止責任者講習等への参加により、知識を深め法令を遵守することに加え、社会的な良識やルールに沿って行動している。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	本社機構として、経営企画部・総務部・安全衛生環境部・土木部・船舶部が専門的な対応を行っている。																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	ホームページでタイムリーな情報やサステナビリティ経営について発信し、顧客満足度アンケートを通じてより客観的な評価を把握し満足度の向上を図っている。																16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	「YSCマネジメントシステム」を運営し、PDCAを有効に回せる仕組みを構築している。																16	
33	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	ホームページに「サステナビリティ経営」項目を設け、CSRへの取り組み状況を掲載している。																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	災害に備えてBCP(事業継続計画)を策定し、全社を挙げて訓練を実施し、手順等の確認を行っている。									9		11		13			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	人材の確保と育成に注力し、全社員がリクレーターとの意識を持った積極的な採用活動、シニア・女性・外国人の活用、OJTシート作成によるスキルや経験の見える化に取り組んでいる。								8	9								17